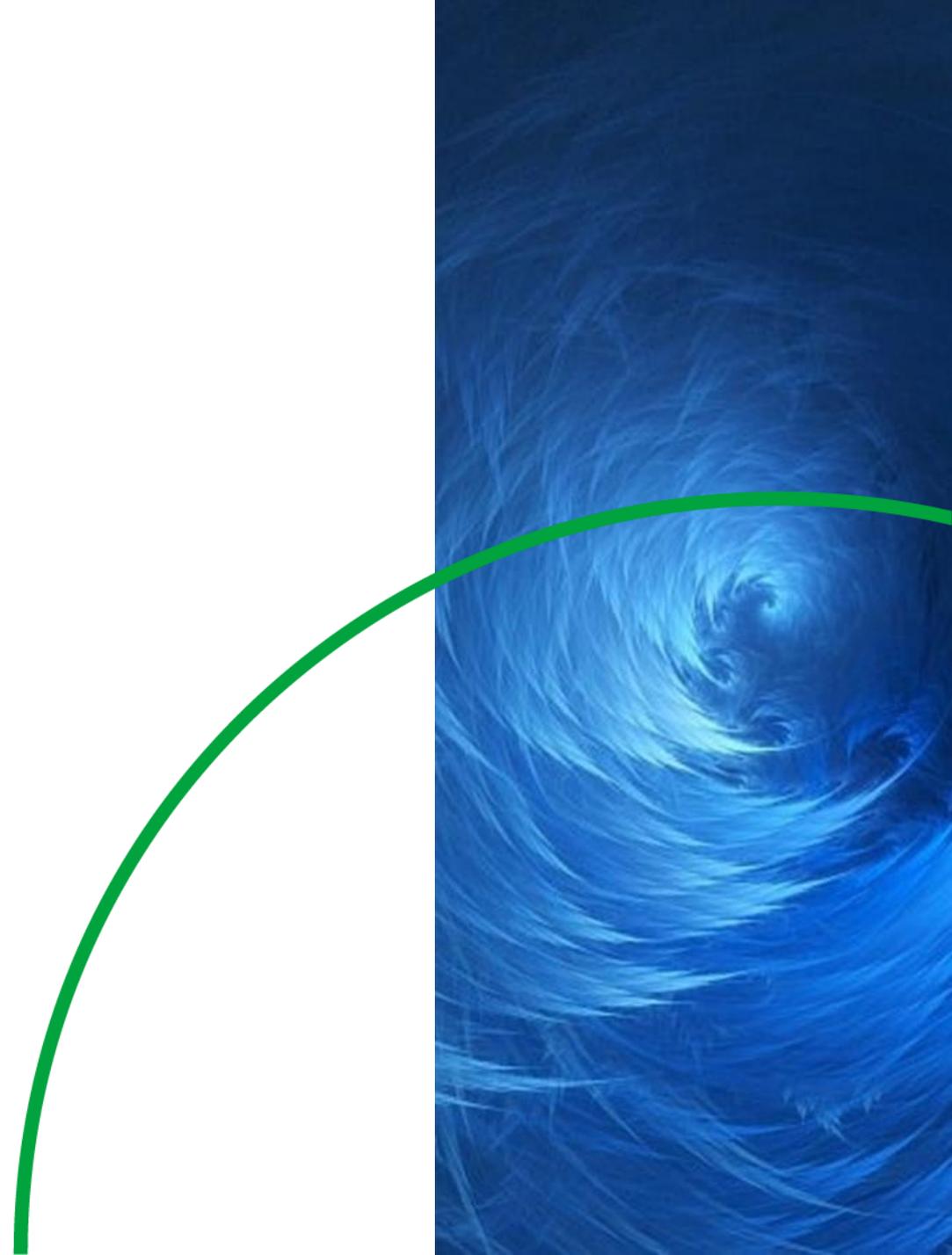


# D X 推進宣言

2024年8月1日  
三菱ケミカル物流株式会社



## はじめに

### 1. 経営ビジョン

### 2. 戦略

#### 2.1. 組織づくり・人材・企業文化に関する方策

#### 2.2. ITシステム・デジタル技術活用環境の整備に関する方策

### 3. 成果と重要な成果指標

### 4. セキュリティとリスク管理

## 三菱ケミカル物流株式会社 DX推進の方向性について

当社は、1956年創業以来、陸運、海運、フォワーディングビジネスを柱とした事業展開を通じた現場力により、ハイレベルな物流品質並びに、安全・Quality Assurance（品質保証）などに関する独自のノウハウ・技術を培ってまいりました。

物流業界は、足元の2024年問題以降本格化する物流危機への対応、将来の持続可能な社会に向けた取り組みなど、さまざまな課題に直面しております。

当社では、社員の意識改革・リスキリング、DXの推進に全社的に徹底して取り組むことにより構造改革を推し進め、社会課題に適切に対応し「安全・安定 & 効率」物流を実現し、皆さまのご期待に応えてまいります。



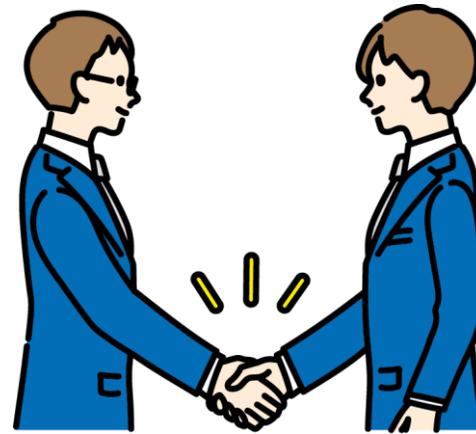
三菱ケミカル物流株式会社  
代表取締役社長  
相川 幹治

## ケミカル品物流会社で、DXが一番進んだ会社になり 「ケミカル品物流」のリーディングカンパニーになる

社員のITリテラシーの高さ



サービスの質、提案力の高さ



労働生産性の高さ



# 1. 経営ビジョン 物流危機とその対応について

喫緊の課題である物流危機・2024年問題を、DXの活用で乗り切る

## 物流危機

- ✓ 長時間労働 ✓ 低賃金
- ✓ 劣悪な労働条件/環境

ドライバー

人手不足  
高齢化

車両・輸送容器

不足と老朽化



法規制の変更  
新しいガイドライン

労働時間・労働条件・  
労働環境改善

2024年に発効  
いわゆる「2024年問題」



大きな懸念

安全・安定物流サービスの維持が困難に

## ケミカル品物流の 現状と課題

長距離輸送

危・高・毒製品

長尺・重量物

法令対応・遵守

様々な付帯作業

固有の品質要求

トラブル対応の専門性

多くの中小パートナー  
への依存

## 対応

- ✓ 労働時間管理・削減
- ✓ 長距離輸送の削減
- ✓ 待機時間削減
- ✓ 作業負荷の軽減
- ✓ 中継輸送・共同輸送
- ✓ 法令違反・トラブル管理

## DX（物流実務管理）で解決

- ✓ 運行実績管理・解析
- ✓ 動態管理・可視化
- ✓ ドライバー安全・勤怠管理
- ✓ 自動配車・バース予約
- ✓ 荷役・付帯作業管理
- ✓ 庫腹・ロケーション管理
- ✓ 自動検品・照合

# 1. 経営ビジョン 構造改革から成長戦略へのシナリオ

課題

既存事業の縮小

要員過多

IT経費増

物流危機対応

基盤強化

成長戦略Ⅰ

成長戦略Ⅱ

要員数管理  
要員配置適正化

- ✓ 事業構造変化へタイムリーに対応
- ✓ 業務の効率化・自動化の成果を手取る

DX教育  
DX要員育成

ITツールを熟知した市民開発支援

自社資産としてのシステム開発

ITベンダー選定  
準委任契約

自社システムをサービスとして提供

できるだけ自前でITシステム保守運営

ケミカル品物流  
固有資産への投資

- 危険物倉庫・ISOコンテナデポ
- 輸送容器（ISOコンテナ、IBC）
- 付帯作業設備（洗浄、詰替え、加温）
- トラクターヘッド

大型投資

同業・ケミカル品物流会社

協業 M&A

ケミカルワークステーション

タンクターミナル（油槽所）

生産性向上

物流危機対応

事故・トラブル削減

パートナー支援

IT資産の戦力化

提案力向上

付加価値向上

競争力の強化

成長の加速

- ・黒字体質化
- ・安全・安定 & 効率物流の継続

業界の構造変化  
の先取り

ケミカル品物流  
リーディングカンパニー

ケミカル品物流  
プラットフォーム

### ケミカル品物流会社で、DXが一番進んだ会社になる

- ✓ 社員のITリテラシーの高さ
- ✓ サービスの質、提案力の高さ
- ✓ 労働生産性の高さ

- 昔ながらの効率化提案に終始 ×  
⇒新技術導入、リエンジニアリング提案へ
- 一からコンサル、ITベンダーに相談 ×  
⇒業務フローの作成と改善案検討は自社で
- 忙殺されているのに満足、勉強しない ×  
⇒勉強しないと仕事は変えられない

- DX推進体制を強化、体制全体として、目標達成に必要なITリテラシーを業界No.1に持ち上げる
- 全社的にITリテラシーを向上、ローカルなDX推進の提案や、全社的なDX推進で活躍できる社員を育成する

- オフィスワーク自動化を推進、業務の自動化：効率化を推進し、管理費比率の最も低い会社を目指す
- 車両の動態管理、自動配車、安全管理⇒プラットフォーム化
- 倉庫管理システムの構築と周辺情報の活用⇒プラットフォーム化
- 貿易システムの構築とトラッキング機能充実 ⇒ 貿易プラットフォームの活用

- ✓ 足元の当社の状況では、DXで差異化を実現することが、勝ち残るための必要条件！
- ✓ ケミカル品物流会社のセグメントの中であれば、社員のDX教育、ITリテラシーで先行できる！

## 2. 戦略 ケミカル品物流の特殊性とDX推進方針

### 【ケミカル品物流エコシステムの特殊性】

- 多岐に渡る製品規格（液体、長物、重量物、容器、表示）
- 多様な物流品質への要求（作業、経路、資格、法令対応）
- 輸送手段の多様性（海上・鉄道・トラック輸送、バルク・容器輸送）
- 特殊品の多さ（代替のきかない製品を、指定納期に合わせ供給）
- 中小のローカルな輸送・倉庫パートナーの多さ

物流危機を乗り越え、生産性を高めるための  
ケミカル品の物流エコシステムにあった変革が必要

Windows PC、クラウドサービスの最大限の活用

- ✓ 低コストで柔軟性・拡張性のあるDXインフラの構築
- ✓ IoTデータの吸い上げ・蓄積と基幹システム・外部との連携

DevOps\*を推進できる体制の構築と要員の育成

- ✓ DX教育体制の構築とDX教育の仕組み作り
- ✓ 実務の自動化・効率化、システム開発の経験の機会の提供

- ERP（統合基幹業務システム）や市販のパッケージでははまらないプロセスが多い
- 中小パートナーが多く、高価なシステムの導入への経済性がない

将来（5～10年後）は、中小の淘汰・統合が進む可能性があるが、それまでこのままでは、自動化・効率化、リアルタイム化、可視化、データのデジタル化が進まない

喫緊の課題である物流危機対応と安全・安定物流&効率物流実現のため、ケミカル品物流エコシステムの現状（主に、物流危機対応）とあるべき姿を踏まえ、柔軟性・拡張性のある物流実務管理システムを自社・顧客・パートナーに展開していくことが必要

\* 開発担当と運用担当が連携・協力し、フレキシブルかつスピーディーに開発するソフトウェアの開発手法

## 2. 戦略 成長戦略（DX推進とケミカル品物流資産投資による職域拡大）

### 【三菱ケミカル物流 歴史的な強み】

- 幅広いケミカル品物流の経験、know-how、技術力
- 安全・安定、コンプライアンスへの体系的な取り組み
- 多様なケミカル品物流オペレーションを熟知



### 【三菱ケミカル物流 新たな強み】

- 社員のITリテラシー
- ITツールでの市民開発力
- ITエンジニアリング力

- ITツールを活用して市民開発を推進
- ✓ 社内の業務の生産性を向上
  - ✓ パートナー・荷主へのサービスを向上

自社が主体で、DevOpsをまわしてケミカル品物流のための  
**統合型輸送・倉庫実務管理システム**を開発・リリース・改良  
自社資産・ホワイトボックス⇒同業、パートナーへの展開可能

### 【ケミカル品物流資産への投資】

- 危険物倉庫・ISOコンテナデポ
- 輸送容器（ISOコンテナ、IBC）
- 付帯作業設備（洗浄、詰替え、加温）
- トラクターヘッド

半導体関連、モビリティ、ヘルスケア等の分野で、ケミカル品物流の需要が増加

- ✓ 物流危機対応
- ✓ 安全・コンプライアンス対応
- ✓ 物流品質・生産性向上
- ✓ リアルタイム
- ✓ 可視化
- ✓ ペーパーレス

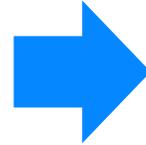
職域拡大

成長分野に、ユニークで付加価値の高い物流サービスを提供

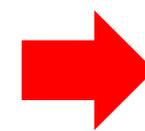
## 2. 戦略 D X 推進効果の可視化

### ■ D X 推進活動の効果の定量化

- 市民開発
- 業務システム導入
- デリバリー業務効率化
- 勤怠管理効率化
- 動態管理・デジタコデータ活用
- 倉庫管理システム導入
- ローリー配車システム導入
- その他



プロセス毎の  
✓ 作業時間削減  
✓ 工数削減  
✓ 人役削減  
で、個別に評価



要員数最適化  
労働生産性向上  
✓ 従業員数  
✓ 売上/人  
(利益/人)  
2030年度までに、  
2023年度比10%超の  
向上を目指す

### ■ 外部へ支払うIT経費の抑制（億円）

2025年～2030年に外部に払う  
IT関連経費（起業費、保守・運営費）を  
2019年～2024年に対して  
15%削減する

プロジェクト管理、システム要件定義、設計、開発、リリース、  
改修、保守・運用について、社員が主体性を持って実施



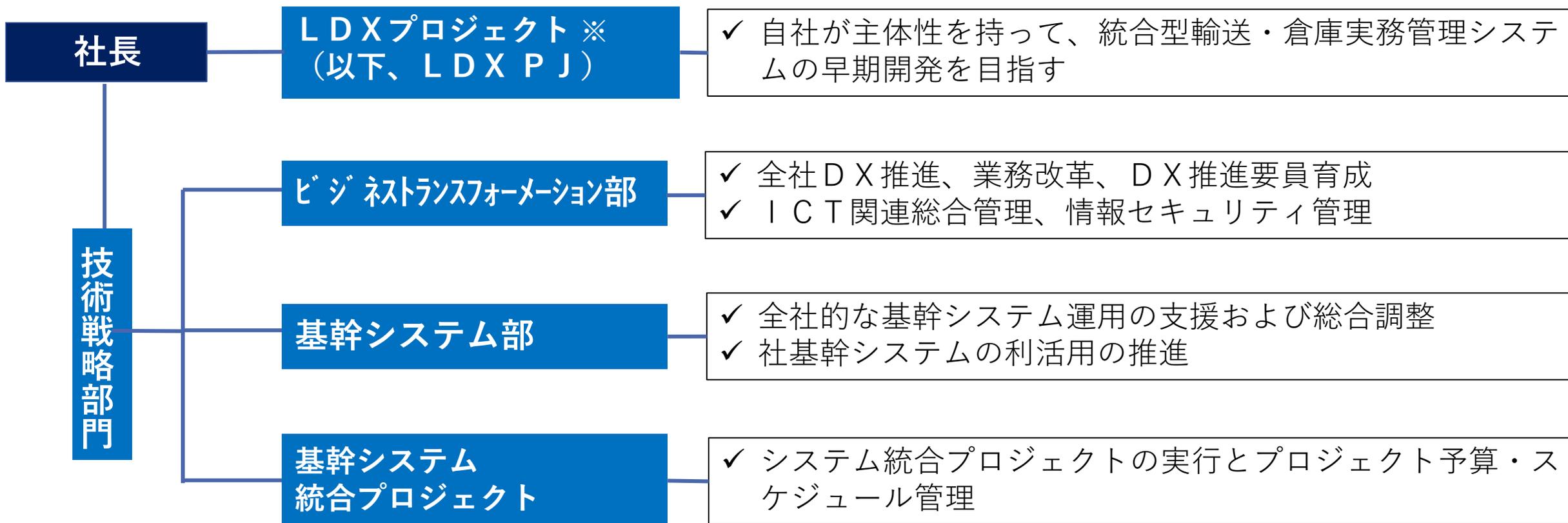
従来外部に頼んでいた業務を、自社で行った工数（要件定義、  
設計、テスト、リリース、保守、等）を評価



投資額（償却費）、運営・保守費用等外部への支払額で評価

## 2. 1. 推進体制 DX/ITに関わる部門

2024年4月1日



※ **LDXプロジェクト** { **L**ogistics  
**L**iquid Chemicals + **D**X

## Step 0 1 ITパスポート資格取得

ITを活用するための基礎知識の習得



## Step 0 2 勉強会参加

各種ITツールの知識を習得



## Step 0 3 IT活用による業務効率化

自分の業務効率化や  
自部署の課題解決のための  
アプリ開発、プログラミング活用



## Step 0 4 全社PJへの参画

事業として必要なシステムを  
社外関係者と一緒に構築

倉庫システム  
PJ

陸送システム  
PJ

貿易システム  
PJ

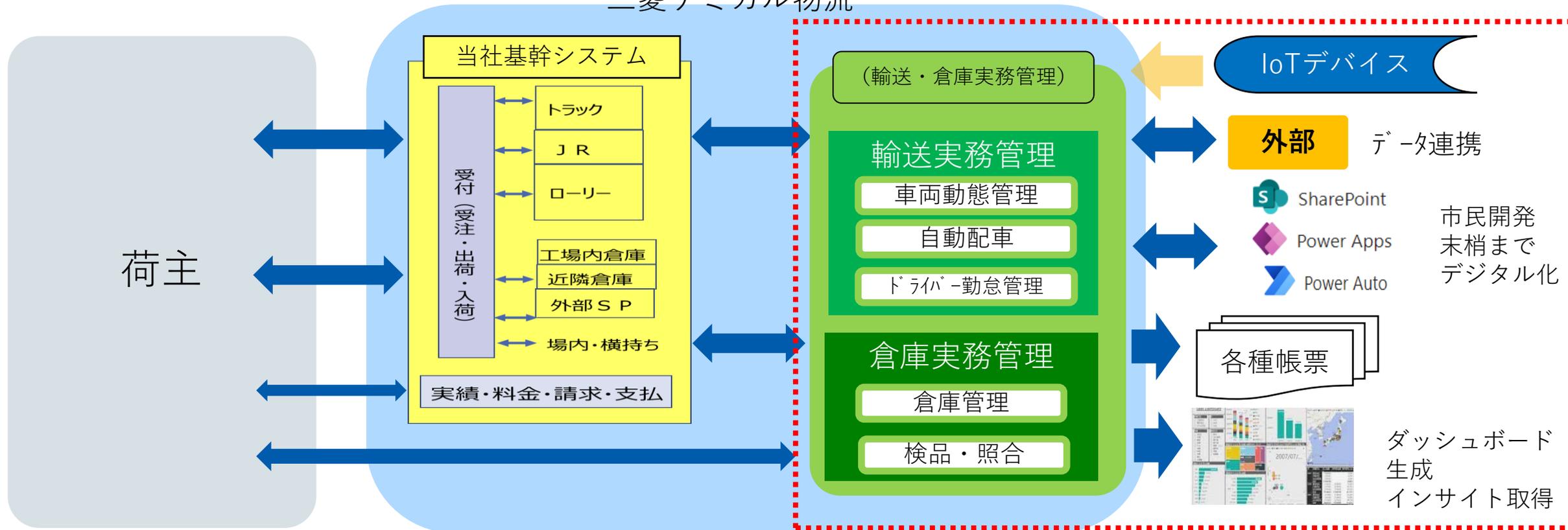
自動化  
PJ

※各PJ

## 2. 2. LD X PJ 統合型輸送・倉庫実務管理システム設計思想

- ・ 基幹システムでカバーできない倉庫・輸送実務管理機能、IoTデータ収集・加工機能を包括的にカバー
- ・ 日本のケミカル品の法規・特殊性に柔軟に対応、パートナーへの展開（プラットフォーム）も視野に入れた設計
- ・ 三菱ケミカルグループのアプリケーション開発標準に準じた設計により、柔軟性、拡張性を担保

### 三菱ケミカル物流



### 3. 成果と重要な成果指標

Items	FY2021	FY 2022	FY 2023	FY 2024	FY 2025	
DXリテラシー向上 DX教育・リスクリン グ推進による要員 育成  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">                         DX要員を                          フィード                     </div>	IT パスポート等の資格取得の推奨・支援					
	取得目標人数	60	150	200	250	300
	オンライン学習の有効活用					
アカウント数	80	200	300	400		
グループ学習（DX推進勉強会）の活性化						
参加人数	50	80	100	150	200	
オフィスワーク 自動化	業務の自動化・効率化推進を継続、社内開発率の向上（市民開発）					
稼働本数	80	100	150	200	250	
Transportation Management System	バルク輸送車両の動態管理システム開発		自動配車システム開発・導入			
登用人役		3	5	7		
Warehouse Management System	WMSパッケージシステム導入		WMSコア開発・導入/DevOps開発			
登用人役		3	5	8		
貿易業務 Trading System	貿易システムの導入、活用、荷主への展開（日本）					
	貿易システムの導入、活用（海外）					
DX要員	0	5	10	15		

ケミカル品の  
 サプライチェーン  
 全体を統合した  
 システムを構築

## 三菱ケミカル物流株式会社 情報セキュリティ基本方針

三菱ケミカル物流株式会社は、お客様・パートナーさまからお預かりした情報資産ならびに当社の情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客さま・パートナーさまならびに社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき全社で情報セキュリティに取り組みます。

### 1. 経営者の責任

当社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます

### 2. 社内体制の整備

当社は、情報セキュリティの維持及び改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます

### 3. 情報セキュリティリテラシー向上の取組み

当社は、情報セキュリティ教育・訓練を実施し役員ならびに従業員の情報セキュリティリテラシーの向上を啓発します

### 4. 法令及び契約上の要求事項の遵守

当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます

### 5. 違反及び事故への対応

当社は、情報セキュリティに関わるインシデント（法令違反、契約違反、情報機器紛失及び事故など）が発生した場合には迅速かつ適切に対処し、再発防止に努めます

<本件に関するお問い合わせ>

Webサイトお問い合わせよりご連絡ください。

三菱ケミカル物流株式会社

総務人事部 山本・山口